

2016年 8月3日

大阪府知事 松井一郎 殿

大阪から公害をなくす会  
会長 金谷 邦夫

## 「夢洲での万博」誘致計画に関する質問と要望

私たち「大阪から公害をなくす会」(1971年設立。194団体および個人)は、人間優先の基本的立場で、大阪から公害をなくし、環境破壊を防ぎ、美しい自然ときれいな空気、きれいな水を取りもどすためにこれまで取り組んでいるものです。私たちは、これまでの経験から今回の「2025年大阪万国博覧会」の誘致が巨額の「公共工事」を必要とし、今でも「経費削減」を理由にさまざまな社会福祉・医療面、労働環境面、府民生活面での施策が後退している中で、府民生活の向上と改善に役立たないのではないかと危惧を抱いています。

しかし、そもそも安全対策上において夢洲での万博開催は大問題であるという問題意識をもっています。南海トラフ巨大地震が間近に迫っている中であり、以下に示す諸点について、大阪府として早急に回答いただきたいと考えます。合わせて私たちとの懇談の場を早期に設定していただくよう申し入れるものです。

### (1) 海辺で、かつ埋め立て地での巨大イベント開催について

南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後30年以内に70%と推測されています。活断層による直下型地震が予測しがたいのに対し、南海トラフ地震のようにプレートが列島に沈み込むことによって発生するプレート型・海溝型の地震の発生確率は、歴史を紐解くまでもなく相当規則的です。従って、南海トラフ巨大地震の発生、それに伴う巨大津波の可能性が年々高まっている中で、海辺で、かつ埋め立て地での巨大イベント開催は、防災面から行うべきではないと考えます。この点について、どのような検討がなされているのでしょうか。まともな検討がおこなわれたのなら、このような計画は考えられないと思いますが、これまでの検討についてお示し願います。

### (2) 第一義的な課題である津波対策について

埋め立て地の外枠は一定の高さにされるものになっていますが、東日本大震災時に多くの巨大な防波堤が崩れ、転倒し、役に立たなかったことは記憶に新しいところです。津波は津波高より遡上高が1.5~4倍も高くなり、例え2~3メートルの津波でも決して侮ることはできません。2重堤防など遡上対策を行いますか。津波は速度が自動車なみ速く、波長が数10~100kmと長いので、海岸付近では段波が生じ、高さを増し、4mの津波でも6m程度の防潮堤を越えます。越えた津波は防波堤に流れ落ち、根元を浸食し、倒壊させます。仙台では1分で、防波堤が転倒しました。防波堤内側根元のコンクリートなどによる浸食対策を行

いますか。

さらに、「大阪府石油コンビナート防災計画」でも、南海トラフ地震による津波の浸水深は、大阪北港地域で5mと想定しています。ましてや夢洲のような埋め立て地の上での防波堤の構築となれば、地盤沈下の可能性も考えられ、相当強固な防波堤の構築が必要と考えられます。その点はどのように検討され、どのような対策が立てられていますか。

### **(3) 液状化対策について**

埋め立て地では地盤の液状化が広範に発生する可能性があります。兵庫県南部地震では、人工島ポートアイランドで全面液状化し、護岸が1-2m沈下し、内陸部も数10cm沈下し、橋も落ち、一時陸の孤島になりました。埋め立て地では地盤の液状化が広範に発生することは、大阪市内でも多数経験したところです。また、東日本大震災でも東京湾の埋め立て地のあちこちで液状化現象が起り、大きな被害を発生させました。従って、仮に一時的使用の建造物であったとしても、埋め立て地そのものである夢洲での建造物に対しては、地震にともなう液状化対策が決定的に重要な課題になると考えます。この点についての検討と対策はどうなっていますか。

### **(4) 大人数を短時間に実施すべき避難対策について**

1日10万～20万人の人が集うことになる会場で、巨大地震が発生した際の避難は極めて多くの困難が発生することが予想されます。特に会場への経路は常吉大橋経由の夢舞大橋と夢洲トンネルの2ルートだけとなり、それらが地震で破壊されることも考えられます。いずれにしても、巨大地震発生時に多くの参加者を会場内に一定期間収容する一時避難所の確保や、「津波到達までに2時間」と言われる短時間のうちに参加者を安全に避難させるルートの確保など、避難計画の確立が極めて重要だと考えます。この点についてどのような検討がされ、どのような対策が立てられていますか。

### **(5) 長周期振動対策について**

南海トラフ巨大地震が発生すれば、長周期地震が生じます。東日本大震災による震度3の地震で咲洲の大阪府庁舎が左右に3メートルも揺れ、大きく損傷しました。南海トラフ巨大地震では、ビルの揺れは5メートルに達するといわれています。長周期振動対策はどのようになっていますか。

### **(6) 津波時に多発する港湾での火災対策について**

大阪湾の北港地域には沢山のコンテナを石油タンクが存在します。大阪府は南海トラフ巨大地震が発生した場合、北港でタンクから約2.2キロリットルの油が漏れだすと想定しています。東日本大震災では気仙沼市で船舶、コンテナ、石油タンク等による津波火災が発生しています。津波によるコンテナや石油タンクの漂流、それに伴う津波火災対策はどのようになっていますか。

以上